

提案者

事業分野

愛知県豊橋市

健康寿命の延伸、快適なインフラ・まちづくり

■ 背景・課題

目指す
将来像

- 近未来技術等を活用し、個人の状況やライフステージに応じて最適なケアを行うことができる「AIケアシティ」の形成を図り、高齢化に伴う社会コストの抑制と住民が自立して生活し続けることができる社会

解決すべき
課題

- 市における要支援・要介護認定者数は、平成22年度の10,153人から、平成27年度には13,461人にまで増加
- 市では約11,500人(市総人口の約3%)が糖尿病保有者であり、1人あたりの費用額では40歳以上で愛知県平均を上回る
- 窓口寄せられる子育てやこども・若者に関する相談の件数は年々増加。平成29年度は約2,400件もの相談に対応

■ 2020年度までの事業内容

○メイン事業: 要支援・要介護者やその家族へのケア

活用技術

事業概要

- AI
- AIによるケアプランの作成支援、ケアマネジメント支援システムの社会実装並びに効果検証
 - 民間事業者や介護支援事業所・地域包括支援センターと連携して推進

○サブ事業: 市民主体のヘルスケア(健康づくり)、子どもたちの健やかな成長へのケア、子育て世帯へのケア

活用技術

事業概要

- AI
- 自主的な健康づくりを支えるAIを導入した健康管理アプリの開発(とよはし健康マイレージとの連携)
 - AIを活用した子どもたちの安全管理(交通ビッグデータ分析による通学路の交通安全対策)
 - AIを活用した妊産婦や乳幼児家庭への健康管理メニューの作成支援
 - 多くの民間事業者や豊橋信用金庫、豊橋技術科学大学などの市内大学、愛知県といった様々な主体が連携して推進



AIケアプラン説明会



とよはし健康マイレージ